

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
岩手県	八幡平市	平成 29 年度～令和 3 年度	平成 29 年度～令和 3 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標		現状 (割合※1) (平成27年度)	目標 (割合※1) (令和4年度) A	実績 (割合※1) (令和4年度) B	実績/目 標※2
排出量	事業系 総排出量 ①	3,293t	2,706t (-17.8%)	3,046t (-7.5%)	42.1%
	1 事業所当たりの排出量※3	2.4t	2.3t (-4.2%)	2.5t (3.1%)	-73.8%
	生活系 総排出量 ②	6,900t	5,809t (-15.8%)	6,790t (-1.6%)	10.1%
	1 人当たりの排出量※4	228kg	211kg (-7.5%)	252kg (10.4%)	-138.7%
	集団回収量 ③	168t	143t (-14.9%)	96t (-42.9%)	288.0%
排出量合計 (①+②)		10,193t	8,515t (-16.5%)	9,836t (-3.5%)	21.2%
排出量合計 (①+②+③)		10,361t	8,658t (-16.4%)	9,932t (-4.1%)	25.0%
再生利用量	直接資源化量	435t (4.3%)	405t (4.8%)	421t (4.3%)	0%
	総資源化量	1,013t (9.9%)	894t (10.5%)	922t (9.4%)	-45.5%
	総資源化量 (集団回収量含む)	1,181t (11.4%)	1,037t (12.0%)	1,018t (10.2%)	-66.7%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	—	0MWh	0MWh	
減量化量	中間処理による減量化量	7,704t (75.6%)	6,423t (75.4%)	7,450t (75.7%)	100.4%
最終処分量	埋立最終処分量	1,476t (14.5%)	1,198t (14.1%)	1,463t (14.7%)	-33.3%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・減量化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量 (集団回収量含む) は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量・減量化量は実績の割合/目標の割合を記載。

再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

※3 (1 事業所当たりの排出量) = { (事業系ごみの排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量) } / (事業所数)

※4 (1 人当たりの排出量) = { (生活系ごみの総排出量) - (生活系ごみの資源ごみ量) } / (人口)

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	ごみの有料化	八幡平市	ごみの有料化について県内外の動向等を見極めながら、生活系ごみ有料制の導入可能性について継続して検討する。	H29～R3	指定袋制を導入しているが、有料化の実施には至っていない。清掃センターへの直接搬入分の有料化について引き続き検討する。
	12	環境教育、普及啓発活動の実施	八幡平市	生涯学習活動において、住民に対し様々な機会を通じてごみ減量化に関する啓発活動を行う。	H29～R3	出前講座の実施し、市広報紙への記事掲載により啓発を行った。
	13	住民主体回収の支援・助成	八幡平市	集団回収実施団体奨励金交付事業を継続することで、集団回収を促進する。	H29～R3	集団回収を実施した団体に報奨金を交付し、集団回収を促進した。
	14	家庭内生ごみの発生抑制	八幡平市	流し台用三角かごの設置を促進し、生ごみの発生抑制を図る。	H29～R3	流し台用三角かごの設置や生ごみの水切りについて啓発を行った。
処理体制の構築、変更に関するもの	21	分別区分変更の検討	八幡平市	現状の分別区分に加え、プラスチック製容器包装の分別収集の是非について継続して検討する。	H29～R3	検討を行ったが、プラスチック製容器包装の分別収集の実施には至っていない。引き続き検討する。
	22	生活系ごみに準じた事業系ごみの受入・処理・処分	八幡平市	事業系ごみは生活系ごみの分別区分に準じて受入・処理・処分を行う。	H29～R3	事業系ごみについて、生活系ごみの分別区分に準じた受入・処理・処分を行った。
処理施設の整備に関するもの	1	ごみ焼却施設の基幹的設備改良事業（交付率1/3）	八幡平市	八幡平市清掃センターごみ焼却施設の延命化を目的とした基幹的設備改良工事を実施する。	H29～H30	八幡平市清掃センターごみ焼却施設の延命化を目的とした基幹的設備改良工事を実施した。
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	発注仕様書作成支援事業	八幡平市	事業番号1の基幹的設備改良工事に先立ち、工事発注に必要な発注仕様書の作成等を実施する。	H29	事業番号1の基幹的設備改良工事に先立ち、工事発注に必要な発注仕様書の作成等を実施した。
その他	41	再生利用品の需要拡大事業	八幡平市	住民、事業者、行政が一体となってリサイクル製品、エコマーク製品の活用を目指す。	H29～R3	リサイクル製品、エコマーク製品の積極的な購入について啓発を行った。

42	廃家電のリサイクルに関する普及啓発	八幡平市	家電リサイクル法に基づく回収、再商品化を目的として、関連団体や小売店などと協力して普及啓発を行う。	H29～R3	小型家電回収ボックスを設置し、廃家電の回収を図った。
43	不法投棄対策	八幡平市	広報紙、チラシ等による普及啓発により、分別排出の徹底を進めるとともに、パトロールを行うことで不法投棄の防止を図る。	H29～R3	広報紙、チラシ等による普及啓発を行うとともに、パトロールを行うことで不法投棄の防止を図った。
44	災害時の廃棄物処理に関する事項	八幡平市	災害廃棄物の処理、施設整備時の一時代行処理等、周辺自治体との連携・体制の構築を図る。	H29～R3	災害廃棄物の処理、施設整備時の一時代行処理を行い、周辺自治体との連携・体制を構築した。

3 目標の達成状況に関する評価

○排出量

事業系については、総排出量の目標 2,706 t に対し、実績は 3,046 t で、1 事業所当たりの排出量の目標 2.3 t に対し、実績は 2.5 t であり、目標を達成することができなかった。

生活系については、総排出量の目標 5,809 t に対し、実績は 6,790 t で、1 人あたりの排出量の目標 211kg/人に対し、実績は 252kg/人であり、目標を達成することができなかった。

排出量合計は、目標 8,515 t に対し、実績は 9,836 t であり目標を達成することができなかった。

達成することができなかった要因及び目標の達成に向けた方策等について改善計画書を作成する。

○再生利用量

直接資源化量については、目標 405 t（排出量に対する割合 4.8%）に対し、実績は 421 t（排出量に対する割合 4.3%）であり、数量の目標を達成することができたが、排出量に対する割合は減少した。

総資源化量（集団回収量含む）については、目標 1,037 t（排出量+集団回収量に対する割合 12.0%）に対し、実績は 1,018 t（排出量+集団回収量に対する割合 10.2%）であり、目標を達成することができなかった。

達成することができなかった要因及び目標の達成に向けた方策等について改善計画書を作成する。

○減量化量

中間処理による減量化量は、目標 6,423 t（75.4%）に対し、実績は 7,450 t（75.7%）であり、目標を達成することができた。

○最終処分量

埋立最終処分量は、目標 1,198 t（排出量に対する割合 14.1%）に対し、実績は 1,463 t（排出量に対する割合 14.7%）であり目標を達成することができなかった。

達成することができなかった要因及び目標の達成に向けた方策等について改善計画書を作成する。

（都道府県知事の所見）

事業系ごみと生活系ごみの排出量について、目標は達成されていないが、平成 27 年度時点と比較すると総排出量に関してはどちらも減少していることから、今後の推移を注視しつつ、引き続き発生抑制施策等の対策に取り組んでいただきたい。

なお、ごみの排出量削減に向けた対策として、ごみの有料化について引き続き検討するとともに、分別・リサイクルを推進するために、プラスチック製容器包装廃棄物の分別収集の実施についても引き続き検討していただきたい。

県においても、課題解決に向け、必要に応じて助言する等して支援していくこととしたい。